

データ表示順序

取引エントリで扱うデータ・マスタの表示順序

項番	対象業務	対象情報	ソート条件
1	総合振込	・受取人情報	・入力順 (※1) ・名称順
2		・受取人マスタ	
3	給与・賞与振込	・従業員情報	・コード1 ・コード2
4		・従業員マスタ	
5	預金口座振替	・支払人情報	・口座順
6		・支払人マスタ	

※1 受取人情報・従業員情報・支払人情報のソートの場合のみ有効となります。

※ 以下の場合もデータの表示順序は同じとなります。

- ・各種帳票印刷時のデータ印刷順序(画面表示の番号と印刷帳票上の番号)が一致します
- ・外部ファイル出力時のデータ出力順序
- ・事前チェックエラー発生時のエラー発生データ表示順序
- ・金融機関へ伝送されるデータの作成順序

取引エントリで扱うデータ・マスタのソート結果

項番	プルダウン選択	ソート
1	入力順	マスタ検索および個別入力データエントリした順番にソート
2	名称順	検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号の昇順
3	コード1	コード1> 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号の昇順
4	コード2	コード2> 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号の昇順
5	口座順	金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号の昇順

※ マスタに関して一度変更した表示順序は、再度利用者が変更するまで契約法人単位に有効となります。

※ データに関して一度変更した表示順序は、再度利用者が変更するまでデータ登録単位に有効となります。

オンラインで扱う口座情報の表示順序

項番	対象取引	対象情報	ソート条件
1	資金移動	・支払元口座情報	店舗コード、科目コード、口座番号の昇順
2	資金移動	・資金移動先口座情報	表示順のプルダウンを選択して、指定された項目名の昇順で表示 (詳細は下表を参照してください。)
3	都度指定先口座 作成・修正・削除	・都度指定先口座削除情報	

項番	プルダウン選択	ソート
1	指定なし(※1)	検索用カナ名称 > 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号 の昇順
2	金融機関名	金融機関名(※2)> 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号 の昇順
3	支店名	店舗名(※2) > 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号 の昇順
4	科目	科目コード > 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 口座番号 の昇順
5	口座番号	口座番号(※3) > 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード の昇順
6	口座名義人	口座名義人(※2)> 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号 の昇順
7	登録区分(※4)	登録区分 > 検索用カナ名称> 金融機関コード> 店舗コード> 科目コード> 口座番号 の昇順

※1 初期表示とします。

※2 カナ名を用いてソートを行います。

※3 前0を付与してソートを行います(振替業務でのソート順と同様)。

※4 都度指定先口座作成・修正・削除では、「登録区分」のプルダウンを除いたものとします。

取引エントリーでの状態表示について

取引エントリーにおいてデータ作成と送信の状態を表示する際、下表の通りの色で表示しています。

項番	状態	文字色	背景色
1	作成中	青色	白色
2	承認待	赤色	
3	送信待	赤色	
4	送信済	黒色	

サイクル番号について

- (1) サイクル番号は契約法人単位・業務単位（総合振込等）に、毎日1番からファイルを送受信する都度カウントアップし、契約法人と銀行との間のファイルの遣り取りを管理する通番です。サイクル番号には、自動採番値かユーザ入力値が設定されます。
- (2) 取引エントリー送受信、外部ファイル伝送送受信においてサイクル番号は下記の通りカウントアップされます。
 - ① 自動採番値について、送受信時とも送受信が成功した時点でマスタ上のサイクル番号を1つカウントアップします。
 - ② ユーザ入力値については、送受信時とも指定サイクル番号と自動採番値が一致した場合のみ、送受信が成功した時点でマスタ上のサイクル番号を1つカウントアップします。